

令和6年度（第21期）事業報告書

特定非営利活動法人アートファーム

1 事業実施の特色

「旭川河畔における拠点形成と地域再生のプロジェクト」として、4月の劇団唐組京橋河川敷公演、9月の西中島・東中島地区の岡山河畔芸術祭、そして新たな文化交流拠点として「旭坐」を開設し、事業の継続化・周年化を図った。

また、文学の領域においても、開講から9年目を迎えた「短歌ワークショップ」に加え、岡山市の文学創造都市との協働事業として小説創作の「文学クリエイター講座」にも取り組んだ。

2 事業の実施に関する事項

（1）特定非営利活動に係る事業

定款の事業名	事業内容	実施期日	実施場所	従事者 人数	受益対象者 の範囲及び人数	支出額 (円)
芸術文化の人材育成に係る事業	岡山市文学創造都市事業 文学クリエイター講座	2024/6～2025/2	吉備路文学館	3人	対象:受講者 人数:38人	454,230
芸術文化によるまちづくりを 推進する事業	岡山河畔芸術祭2024 「銀河の夜祭り」 軽トラ吟遊劇場 親子で楽しむ大道芸サーカス 尾上松之助とまち歩き	2024/9	西中島町 東中島町	20人	対象:一般県市民 人数:参加・鑑賞者 750人	1,410,600
芸術文化の人材育成に係る 事業	アートとファームの学校 短歌ワークショップ第9期	2024/10～2025/3 全6回開講	吉備路文学館	3人	対象:受講者 人数:16人	328,000
芸術文化によるまちづくりを 推進する事業	西中島まちラボ「旭坐」 オープニング事業	2024/12	西中島町	10人	対象:一般県市民 人数:参加・鑑賞者 188人	665,179
芸術文化の鑑賞機会を促 進する事業	岡山河畔芸術祭2025 劇団唐組京橋河川敷公演 『紙芝居の絵の町で』	2025/4	京橋町河川敷	8人	対象:一般県市民 人数:参加・鑑賞者 376人	224,750
定款の事業名	事業内容				実施日時	
芸術文化の社会啓発を図る 事業	文化芸術の多様な可能性を地域社会に役立てる活動				なし	
芸術文化の創作活動を支 援する事業	文化芸術の創造的な作品を創作する活動				なし	
芸術文化の教育普及に係る 事業	文化芸術を学校教育や社会教育の現場に役立てる活動				なし	
芸術文化の国際交流を図る 事業	文化芸術における人と作品の国際的な交流と伝播に取り組む活動				なし	
芸術文化と異分野・異業種 の連携を図る事業	文化芸術と他分野・他業種の交流を通じて社会的役割を高める活動				なし	
芸術文化による地域間のネ ットワークを形成する事業	圏域を越えた連携や協働を通じて文化芸術の可能性を高める活動				なし	
芸術文化に関する調査研 究・政策提言を行う事業	地域の文化政策を進展させるために調査・研究・提言を行う活動				なし	
芸術文化に関する各種施設 の管理・運営、それに係るコ ンサルティングの事業	公立文化施設を中心に文化芸術の専門的な役割に取り組む活動				なし	
芸術文化の公演・展示・イベ ント等に関する企画・制作・ 運営を行う事業	文化芸術の多様な分野の事業を開催する活動				なし	
その他目的を遂行する上で 必要と認められる事業	多様な文化芸術を通じて地域社会の振興発展に取り組む活動				なし	

令和6年度(第21期)活動計算書
令和6年6月1日から令和7年5月31日まで

特定非営利活動法人 アートファーム
(単位: 円)

科目		金額	
経常収益			
入会金	0		
会費	0		
寄附金	1,500,000		
助成金・補助金	3,165,000		
事業収益	890,400		
雑収入	0		
経常収益計			5,555,400
事業費			
稽古費・出演料	0		
文芸費	0		
運営費	2,029,403		
舞台費	2,800		
謝金	281,370		
旅費	403,176		
宣伝・通信費	292,590		
印刷費	73,420		
記録費	0		
事業費計		3,082,759	
管理費			
広告宣伝費	82,280		
事務用消耗品費	53,689		
消耗品費	180,254		
賃借料	236,064		
租税公課	450		
接待交際費	104,098		
旅費交通費	500		
通信費	39,305		
支払手数料	20,130		
会議費	2,172		
雑費	72,368		
管理費計		791,310	
営業外収益			
受取利息	18	18	
営業外費用			
支払利息	32,204	32,204	
当期経常増減額			1,649,145
税引前正味財産増減額			1,649,145
当期正味財産増減額			1,649,145
前期繰越正味財産額			△682,396
次期繰越正味財産額			966,749

貸借対照表

特定非営利活動法人アートファーム

2025年 5月31日現在

(単位: 円)

資 産 の 部

【流 動 資 産】

現 金	343,938
普 通 預 金	553,658
通 知 預 金	1,568

流 動 資 産 計

899,164

【固 定 資 産】

(有 形 固 定 資 産)

建 物 付 属 設 備	6,235,303
-------------	-----------

有 形 固 定 資 産 計

6,235,303

固 定 資 産 計

6,235,303

資 産 の 部 計

7,134,467

負 債 の 部

【流 動 負 債】

未 払 金	928,280
前 受 金	1,200,000

流 動 負 債 計

2,128,280

【固 定 負 債】

長 期 借 入 金	3,920,000
役 員 借 入 金	119,438

固 定 負 債 計

4,039,438

負 債 の 部 計

6,167,718

正 味 財 産 の 部

【正 味 財 産】

前期繰越正味財産額	△682,396
-----------	----------

当期正味財産増減額	1,649,145
-----------	-----------

正 味 財 産 計

966,749

正 味 財 産 の 部 計

966,749

負債及び正味財産合計

7,134,467

計 算 類 の 注 記

特定非営利活動法人アートファーム

自 2024年 6月 1日
至 2025年 5月31日

1. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

計算書類の作成は、NPO法人会計基準（2011年11月20日 NPO法人会計
基準協議会）によっています。

固定資産の減価償却の方法

有形固定資産(リース資産除く)……建物は定額法、建物以外は定率法

無形固定資産(リース資産除く)……定額法

リース資産……リース期間を耐用年数とし残存価額をゼロとする定額法

収益及び費用の計上基準

原則的な方法による

その他計算書類の作成のための基本となる重要な事項

消費税等の会計処理

税込方式で計上している。

2. 貸借対照表に関する注記

会計規則129条2項1号により省略

3. 損益計算書に関する注記

会計規則129条2項1号により省略

4. その他の注記

特になし

財 産 目 録

特定非常利活動法人アートファーム

2025年 5月31日現在

(単位: 円)

資 産 の 部

【流 動 資 産】

現 金	343,938
普 通 預 金	553,658
通 知 預 金	1,568

流動資産計

899,164

【固 定 資 産】

(有形固定資産)

建 物 付 属 設 備	6,235,303
-------------	-----------

有形固定資産計

6,235,303

固定資産計

6,235,303

資産の部計

7,134,467

負 債 の 部

【流 動 負 債】

未 払 金	928,280
前 受 金	1,200,000

流動負債計

2,128,280

【固 定 負 債】

長 期 借 入 金	3,920,000
役 員 借 入 金	119,438

固定負債計

4,039,438

負債の部計

6,167,718

正 味 財 産 の 部

【正 味 財 産】

前期繰越正味財産額	△682,396
-----------	----------

当期正味財産増減額	1,649,145
-----------	-----------

正味財産計

966,749

正味財産の部計

966,749

負債及び正味財産合計

7,134,467

前事業年度の年間役員名簿

(令和6年6月1日から令和7年5月31日まで)

特定非営利活動法人アートファーム

No.	役職名	氏 名	住 所 又 は 居 所	就 任 期 間	報 酬 を 受 け た 期 間
1	理 事 長	大森 誠一		令和6年6月1日～ 令和7年5月31日	無
2	副 理 事 長	秋山 享祐		令和6年6月1日～ 令和7年5月31日	無
3	理 事	大森 美穂		令和6年6月1日～ 令和7年5月31日	無
4	同	古本 径子		令和6年6月1日～ 令和7年5月31日	無
5	同	岸 和秀		令和6年6月1日～ 令和7年5月31日	無
6	監 事	古本 順子		令和6年6月1日～ 令和7年5月31日	無

【備考】

- 1 用紙の大きさは、日本工業規格A4とする。
- 2 「役職名」の欄には、理事、監事又は理事の職名を定めている場合はその職名の別を記載する。
- 3 「住所又は居所」の欄には、各役員の住所又は居所を証する書類の記載どおりに記載する。
- 4 「就任期間」の欄には、左に記載された役員全員についてそれぞれ記載し、「報酬を受けた期間」の欄については、報酬を受けたことがある役員はその期間を、報酬を受けなかった役員については「報酬無し」とそれぞれ記載する。